

## 介護の質向上のために施設はどうあるべきか

社会福祉学科 福祉政策系 遠藤菜月

本研究は、介護職員の離職理由に「介護の質」が関係していると仮定し、介護施設で実際に介護の質向上に成功した事例を取り上げ、介護の質向上の取り組みが成功した前提条件と介護の質向上の取り組みが人材定着に影響を与えたのかについて明らかにすることを目的とした。そのため、介護の質向上に取り組む特別養護老人ホーム A の中堅介護職員を対象に半構造化インタビューを実施し、SCAT 分析を用いて分析を行った。その結果、介護の質に直接影響を及ぼす要因として「多職種連携」と「個別ケア」が抽出された。さらに、「良好な人間関係」や「組織学習」は多職種連携を媒介として介護の質に影響を及ぼしている可能性が示唆された。また、介護の質向上の取り組みが人材定着に直接影響を及ぼしているとはいえなかった。しかし、職種間の連携を基盤とした職員のモチベーションを上げるような組織的な取り組みが介護の質向上における持続可能な介護施設の運営の在り方であると考えられる。